

観光宿泊施設特別会計

平成 27 年度 観光宿泊施設特別会計の概要

市が所有する観光宿泊施設（安曇野市長峰荘、安曇野市しゃくなげ荘、安曇野市有明荘、安曇野市大天荘）について、指定管理者制度を導入し、民間事業者の視点による経営ノウハウ等を活用することにより、業務のスリム化、経営の効率化及びサービスの向上を図ります。

また、安曇野市大天荘につきましては、平成 27 年度に山小屋である当該施設を長期的に所有・経営を前提とし、安定的なサービス提供、登山者である顧客との関係構築、人材育成などを通じより良いサービス提供や安定的な経営に資するものとして民間譲渡を行いました。

平成 28 年度	
部	商工観光部
課	観光課
係等	拠点維持整備係

決算書 ページ	464
------------	-----

予算	款	01	観光宿泊施設事業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	01	観光宿泊施設事業費		主要施策	活力かる商工観光業を振興するまち
	目	01	観光宿泊施設事業費		基本施策	観光の振興
	事業	7100001	観光宿泊施設管理費		具体的な施策	受け入れ体制の整備

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額)②	翌年度繰越額 ③	不用額①-②-③	執行率②/①
37,306,000	37,299,543	0	6,457	100.0%
特定財源の合計金額	左記の内訳	金額	金額	金額
37,306,000	観光宿泊施設維持管理	29,720,000		
	有明荘外施設使用料	7,550,000		
	繰越金	36,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

市が所有する観光宿泊施設（長峰荘、しゃくなげ荘、有明荘、大天荘）について、指定管理者制度を活用し、民間事業者の視点による業務のスリム化及び効率化を図りサービスの向上に努めました。

1. 長峰荘

利用者数は年々減少傾向にありましたが、平成 27 年度は指定管理者が変わり、入浴者数は若干上向くなど、指定管理者の経営ノウハウを活用し施設運営がなされました。なお、平成 28 年 3 月に発生したノロウィルス事故を踏まえ施設内衛生面の管理を徹底しました。

○長峰荘の概要

指定管理者	株式会社塚原緑地研究所		
指定管理料	5,200,000 円	市への納付金	なし
利用者数	宿泊者 1,693 人（前年度比 294 人減） 日帰り：宴会 3,545 人（前年度比 70 人減） 入浴者 18,036 人（前年度比 612 人増）		
主な工事	長峰荘浴室鏡修繕工事 35,640 円 長峰荘厨房水栓取替他工事 39,787 円		

2. しゃくなげ荘

しゃくなげ荘も利用者数が年々減少していましたが、平成 27 年度は指定管理者が変わり、営業形態も日帰り入浴のみとなりました。その結果入浴者数は大幅に上向きました。その主な原因としては民間の経営ノウハウを活用し施設運営がなされたと考えます。尚、施設の老朽化により、安曇野しゃくなげの湯営業開始に合せ、施設を廃止する予定となっています。

○しゃくなげ荘の概要

指定管理者	有限会社山のたこ平		
指定管理料	5,200,000 円	市への納付金	なし
利用者数	日帰り：入浴者 50,035 人（前年度比 8,587 人増）		
主な工事	しゃくなげ荘風呂用塩素滅菌機交換工事 550,800 円 しゃくなげ荘ボイラー移設設置工事 680,400 円 しゃくなげ荘耐火ボード設置工事 151,200 円		

予算	款	01	観光宿泊施設事業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	01	観光宿泊施設事業費		主要施策	活力かる商工観光業を振興するまち
	目	01	観光宿泊施設事業費		基本施策	観光の振興
	事業	7100001	観光宿泊施設管理費		具体的な施策	受け入れ体制の整備

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要

3. 有明荘

有明荘については、天候不順等も重なり、宿泊者数は前年数を3.5%ほど下回りましたが、入浴客数は前年数に対し約3.7%ほど上回りました。

○有明荘の概要

指定管理者	株式会社燕山荘		
指定管理料	なし	市への納付金	6,870,000円
利用者数	宿泊者 3,972人（前年度比144人減） 日帰り：宴会0人（前年度比0人）増減 入浴者 12,358人（前年度比442人増）		
主な工事	木製浴槽改修工事（女風呂） 3,294,000円		

4. 大天荘

大天荘については、安曇野市公共施設再配置計画基本方針（平成27年2月）に基づき施設を持つ性質から、民間譲渡が示されておりました。指名競争入札により、長年の山小屋経営に実績のある、現在の指定管理者に譲り渡すこととなりました。今後は民間活力により更なる登山者の安全確保と、きめ細かなサービスの向上を図ってまいります。

○大天荘の概要

指定管理者	株式会社燕山荘		
指定管理料	なし	市への納付金	680,000円
利用者数	宿泊者 3,643人（前年度比260人増） テント利用者 2,297人（前年度比447人増）		
主な工事	フトンカゴ維持工事 626,400円 渡廊下改修工事 490,752円		
大天荘民間譲渡経過	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年3月27日 平成27年3月定例会において「安曇野市観光宿泊施設条例の一部を改正する条例」可決により大天荘廃止が決定。 同年10月30日「同条例の施行期日を定める規則」の交付により11月1日条例の施行。11月2日用途廃止により普通財産に財産種別替。 同年11月24日指名競争入札により119,880,000円の落札額により落札予定者決定。12月17日12月定例会において議決承認いただき「市有財産売買契約書の締結」に至りました。 		

上記の評価と課題等

各施設とも指定管理者への委託により、民間の経営ノウハウを活用した施設運営を行うことで、業務のスリム化及びサービスの向上を図ることができました。しかしながら、いずれの施設も老朽化が著しく、各施設において以下の課題等が挙げられます。

○長峰荘については、平成27年度から新たに指定された指定管理者による運営が行われています。施設の老朽化により修繕費も年々増加傾向にあり、防火管理施設等の修繕が大きな課題となっております。また、公共施設再配置計画に基づく、今後の施設の維持管理のあり方について、関係者との調整を継続していく必要があります。

○しゃくなげ荘は、平成27年度からは日帰り入浴施設として、新たな指定管理者により運営が行われています。施設の終期として設定した「安曇野しゃくなげの湯営業開始の前日」という短期間の営業となるため、計画的かつ効率的な運営が必要となります。

○有明荘についても、設備の耐用年数経過により指定管理者の負担が増加してきており、指定管理者との費用負担割合の見直しや、計画的な修繕・改修計画の策定が必要となります。